

## 平成22年緑化推進運動功労者 内閣総理大臣表彰受賞者・功績概要

### 【個人】

大柳 雄彦	(宮城県仙台市)
星野 努	(愛知県岡崎市)
坂野 正義	(北海道檜山郡江差町)

### 【団体】

※ 北見市相内町町内会連合会	(北海道北見市)
※ みどりのふるさとづくり実行委員会	(千葉県野田市)
※ くにたち桜守	(東京都国立市)
日野の自然を守る会	(東京都日野市)
あしがら花紀行千津島地区実行委員会	(神奈川県南足柄市)
※ 天龍村	(長野県下伊那郡天龍村)
岐阜県立加茂農林高等学校	(岐阜県美濃加茂市)
明和工業株式会社	(岐阜県多治見市)
貝塚市	(大阪府貝塚市)
雲仙百年の森づくりの会	(長崎県島原市)

※は国土交通省推薦分

[団 体]

きたみしあいのないちようちようないかいれんごうかい

## 北見市相内町町内会連合会

所 在 地 北海道北見市相内町101-5

代 表 者 会長 吉倉 輝久

### <功績の概要>

同団体は、北見市相内地区にある町内会が連携し組織された団体で、昭和44年に設立、昭和47年から国道区域の清掃・美化を定期的を実施してきている。

年間の活動は、春先の「冬あか一掃運動」にはじまり、花壇(植樹帯)の清掃・花植え・管理、歩道清掃など道路の美化運動を定期的に行っている。特に、花壇(植樹帯)の整備については、長年の活動が認められ、平成12年度に道路をまもる月間の建設大臣表彰を受賞している。

現在、平成20年度よりボランティア・サポート・プログラム団体として協定を結び引き続き活動を行っている。

[団 体]

---

じっこういいんかい  
みどりのふるさとづくり実行委員会

---

所在地 千葉県野田市鶴奉7-1 野田市役所みどりの課内

代表者 茂木 康男

---

＜功績の概要＞

同団体は、平成9年8月「12万本植樹事業実行委員会」として発足し、平成10年2月に「みどりのふるさとづくり実行委員会」としての組織となった。

野田市の基本テーマである「みどりのふるさと野田」を果たすために、市民が自ら緑を創造し、良好な環境が守れるよう市民参加による緑化活動の推進と、緑化意識の高揚を野田市民全体で図ることを目指している。

＜主な活動＞

○ 公共施設等への拠点植樹活動

市内の公共施設等へ、一般参加を呼びかけながら植樹活動を行っている。

○ イベント「みどりのふるさとづくりフェスタ」主催

当会手作りのイベントを開催し、緑化推進の活動を行っている。

○ ミニ門松の作成講習会

当会員によるミニ門松作成講習会を行い、市内の老人ホームへ寄付している。

○ 苗木等の無料配布と、花と緑の相談室を設置

市内で行われているイベントに参加し、苗木等の無料配布や、相談室を設けて緑化推進の活動を行っている。

[団 体]

---

くにたち桜守<sup>さくらもり</sup>

---

所 在 地 東京都国立市中2-14-21 川島一矩方  
代 表 者 大谷 和彦

---

<功績の概要>

同団体は、平成12年4月から活動を始め、現在登録している会員は、約200名である。

国立市のシンボルでもある大学通りにおいて、衰弱したサクラの樹勢回復作業を行っている。

他に例を見ない特徴としては、市内六校の小学生が授業の一環として、くにたち桜守の活動に関わっていることがあげられる。小学生たちが自分の手でサクラの植樹などを行うことにより、サクラを通して、地域への愛着や環境への関心を深めていく一環としている。

毎年、サクラにまつわる各種の市民向け講座を開催、また、平成20年からは国営昭和記念公園において「桜コンシェルジェ展」というイベントを開催し、大勢の参加者を集めている。

また、同団体の活動は、テレビ、新聞、雑誌などの各種メディアや学校教科書などに取り上げられ、様々な分野で地道な活動が紹介されている。

[団 体]

---

てんりゅうむら  
天 龍 村

---

所 在 地 長野県下伊那郡天龍村平岡878番地

代 表 者 村長 大平 巖

---

<功績の概要>

同村は、早くから村民自らの手で郷土の美化、緑化運動に取り組む活動が起こり、天竜川河畔等におけるもみじ植樹を始めとする景観に配慮した緑化活動を進める「睦会」、里山や道路沿線に桜を植栽活動する「ニセンジ運営委員会」、天龍村をより一層美しく、心から安らぎを得る花の里づくりを住民自らが実行する「花の里づくりの会」等多くの村民団体による緑化推進運動が行われている。

同村の「天龍みどりの少年団」は、下伊那地域でも初期に育成され、早くから後継者の育成、森林に対する意識の高揚に取り組んでいる。

また、同村は、昭和62年に県内で初めて被害が確認された松くい虫による松林の被害対策として、樹幹注入材投与や樹種転換(広葉樹化)等に取り組むとともに、豊川水源基金を活用し、愛知県を流れる豊川の水源域内の造林を毎年行うことにより、水資源の保全と緑化の推進に大きく寄与している。

平成14年には、「天龍農林業公社」を設立し、手入れのされていない山林や農地について草刈りや伐採などを行い、美しい自然環境保全の推進に貢献している。